２０２６年１１月１０日発行

観音寺中学校　道徳通信　11月号

昼夜の寒暖差が大きく、体調を崩しやすい時期ですね。食事で栄養をしっかりチャージするとともに、早寝早起きを心がけて睡眠時間を十分に確保することで、生徒たちには２学期後半も元気に過ごしてもらいたいところです。今回２年生では、「住みよい社会に」という題材をもとに、生活しやすいクラスにするにはどうしたらよいかを考えました。

「住みよい社会に」【内容項目】社会参画、公共の精神

この教材では、私たちが生活する社会の中で、マナーやルールを守ることについて、防犯カメラをめぐる問題を通して考えます。防犯カメラは、犯罪や迷惑行為を防ぐために設置されている。防犯カメラがあることで、ルール違反や迷惑行為を抑える効果が期待できるが、常に誰かに行動を見られ、監視されることへの抵抗感もあります。教室に監視カメラがつくことに賛成か反対か、という議論を通して、生活しやすい教室とはどんな教室か、ということについて考えました。

「自分の学校やクラスをよりよくするために、今からできる行動はどんなことですか。」（生徒記述より）

よくない雰囲気に流されない。
ダメなことはダメと注意。

相手が嫌がることをしないし、
ケンカをしない！

友だちの意見に反対する前に一度認めたり、学校や学級のルールを守ることが大切だと思う。

優しく相手を受け止める。
自分から率先して意見を出したり発表したりする。
相手が嫌がる言葉や行動をしない。

相手や周りの人が聞いて不快になる言葉や自分が聞いて不快だった言葉を使わない。使っている人がいたら注意をする。

授業は静かに落ち着いて受ける。
周りに流されない。

ルール（仲間外れをしないや静かに授業をうけるなど）をしっかり守る。口先だけでなく行動に起こす。

トラブルを起こさないように悪口とか相手が嫌がることをしない。

一人一人が授業に集中して、授業中の私語をしないようにする。相手を認める。相手が嫌がることをしたり言ったりしない。トラブルをなくす。

周りの人のことを考えて、発言、行動する。否定から入らない。クラスでのルールをちゃんと守る。

道徳通信１０月号の返信より

- どんなこともクラス一丸となり、全力を尽くすという経験は、良い思い出になるだけでなく、今後、様々なことを経験していく上で、とてもよい成長に繋がっていくと思います。賞を取ることを目標にすることも大切だと思いますが、一人ひとりが全力を尽くせることをより大切にしたいと感じました。
- 桂こけ枝さんの講演会を拝聴させていただき、とても良い内容だったと思いました。楽しい語り口調で大切なことを伝えていただいたと感じております。ただ、生徒たちの反応が乏しいように感じたのが少し残念です。今の若い子たちは対面で話を聞くより SNS を介した方が響くのでしょうか。それとも思春期特有の照れでリアクションが薄かったのでしょうか。いずれにせよ、リアクション以上のものが実際には彼らに届いていればいいなと願います。
- ひとつの事に向かって、みんなで同じ方向を向いて走って行く。それが簡単に出来れば良いけれどそう簡単では無い事を子供達も身に染みて分かったのではないでしょうか。自分 1 人が良ければそれでいいのではなく、周りの人の事を考え行動出来る人になっていって欲しいです。
- 誰でも得意不得意はある事を理解し、相手のことを考えた声かけや行動が大切なのかなと思いました。
- 私も中学校の時、合唱祭がありました。今でも、思い出して懐かしみます。パートごとに別れて練習して、大体出来たら全員での練習。本番は、ステージに上がって全校生徒の前で歌う。緊張したけどなんとか歌えて良い思い出になっています。練習は、大変だし、上手く歌えなかったら落ち込むけど、それを乗り越えたら、達成できて、良い思い出になるので、頑張って下さい。

ご返信、ありがとうございました♪

ご感想やご意見がございましたら、LEBER（リーバー）のアンケート「返信欄」にてお気軽にご回答ください。たくさんのご返信をお待ちしております。